

【第5次津島市総合計画】施策評価シート(2024年度)

| | |
|-------|----|
| 施策コード | 34 |
|-------|----|

| | |
|----------|---|
| まちづくりの方針 | 3 産業・環境・市民生活 |
| 施策 | 4 環境保全 |
| 施策のめざす姿 | 持続可能で快適なまち(自然共生、循環、低炭素、安全安心)の実現に向けた取組が行われるとともに、これらの取組を支える人づくりや連携・協働のあり方が構築されています。 |

| まちづくり指標 | 現状値 (2019年度) | 実績値 | | | | | 目標値 | |
|--|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 | 2025年度 | 2025年度 | 2030年度 |
| 市区域におけるCO ₂ 排出量(千t-CO ₂)【生活環境課】 | 370 | 343 | 算定中 | 算定中 | | | 344 | 311 |
| 市民1人1日当たりのごみ排出量(g)【生活環境課】 | 743 | 747 | 750 | 740 | | | 729 | 704 |
| 資源化率(%)【生活環境課】 | 14.0 | 15.1 | 15.4 | 14.8 | | | 19.1 | 21.6 |

| 施策の方針 | 担当課 | 実績・成果 |
|------------------------|-------|---|
| | | 今後の方向 |
| 1 身近な水と緑の保全・創出 | 生活環境課 | <p>生物多様性の保全の取組として、クビアカツヤカミキリ、オオキンケイギク等の身近な特定外来生物に対する対応について啓発を行いました。</p> <p>生物多様性の保全に関する啓発を行います。また、令和6・7年度には、生物多様性地域戦略の改定に向けた事務を進めます。</p> |
| 2 資源循環型社会の形成【重点】 | 生活環境課 | <p>食品ロスの削減を目的とした専用WEBサービス「タベスケ」を運用した。</p> <p>ごみ出しマナーや分別方法の周知啓発により、資源化促進に努めます。</p> |
| 3 地球温暖化の緩和策と適応策の推進【重点】 | 生活環境課 | <p>世界気候エネルギー首長誓約(世界首長誓約/日本)に市長が署名し、気候変動適応や持続可能なエネルギーの推進に積極的に取り組むことを誓約したほか、2050年ゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。産業部門及び事業部門からの温室効果ガスの排出量の削減のため、中小企業向け省エネセミナーを実施しました。</p> <p>熱中症対策その他の気候変動適応策の調整を図るとともに、再生可能エネルギーの合理的な利用に資する蓄電池の設置に対する補助金の規模を拡大します。</p> |
| 4 魅力ある生活環境の創造 | 生活環境課 | <p>地域のインフラである斎場や公衆トイレの機能維持を図るとともに、市民との協働により地域環境の保全に努めました。</p> <p>令和6・7年度には、次期環境基本計画の策定に向けた事務を進めます。</p> |

| | | | |
|------|-----------------------|---|----------|
| 総括評価 | 施策のめざす姿の達成状況 | 食品ロス削減のためのWEBサービス「タベスケ」の運用、温室効果ガスの削減に向けた省エネセミナーの開催等を始め、地域の環境の保全に関する取組を各分野で進めました。また、世界気候エネルギー首長誓約(世界首長誓約/日本)への署名、2050年ゼロカーボンシティ表明を通じて、地球温暖化対策の一層の取組の強化を明確にしたほか、全体として施策の目指す将来の姿の実現に向けて進んでいます。 | 評価 |
| | 施策のめざす姿の達成に向けて今後必要なこと | 市の財政状況や社会情勢を鑑みながら、持続可能で快適なまちの実現に向けて取組を進めていきます。特に地球温暖化対策が喫緊の課題とされており、地球温暖化の緩和策と適応策について、市民・事業者・行政がそれぞれの立場において果たすべき役割を認識し、連携して取り組んでいくことが不可欠です。市においては、引き続き、具体的な対策を提示しながら、施策の推進に努めてまいります。 | 方針 継続 |